

# 三条商工会議所景況調査概況

【令和5年4月～6月期】

日本商工会議所が全国の商工会議所ネットワークを活用して、各地域での「肌で感じる景況感」（早期景気観測調査＜LOBO調査＞）を毎月集計した令和5年6月の結果と、三条商工会議所で3ヶ月毎に会員事業所にアンケート調査を行った最近の業況をまとめた資料です。

- 調査対象：＜全国＞全国 329 商工会議所が 2,511 企業にヒアリング。回答数 1,996 件  
＜三条地域＞会議所会員事業所 400 社を対象にアンケート調査。回答数 244 件
- DI 値＝（増加・好転などの回答割合）－（減少・悪化などの回答割合）  
従業員DIは（不足とする回答割合）－（過剰とする回答割合）

## 【全国の業況】

6月の全産業合計の業況DIは、▲8.9（前月比▲2.7ポイント）

サービス業では、飲食・宿泊業等で需要回復は継続する一方、深刻な人手不足に伴う受注機会の損失で、業況は悪化した。また、小売業では、物価高により消費者の日用品等の買い控えが継続しており、スーパー等を中心に悪化した。卸売業でも、梱包資材価格の高止まりに加え、小売業・サービス業からの引き合い減少で悪化した。建設業・製造業では、設備投資需要が堅調に推移する一方、度重なるコスト増に価格転嫁が追いついておらず、横ばいに留まった。

原材料・エネルギー価格の高騰や人材確保に向けた賃上げ等のコスト増加が継続する中、コロナ禍からの挽回消費にも一服感が見られ、中小企業の業況は悪化に転じた。

先行き見通しDIは、▲10.2（今月比▲1.3ポイント）

インバウンド・国内観光需要の回復や、企業の設備投資の増加等、経済活動のさらなる改善が期待される。一方で、原材料・エネルギー価格の高騰によるコスト負担増や人手不足への対応等は長期化しており、経営の足かせとなっている。また、価格転嫁実施後に受注・販売数量の減少が生じたとの声もあり、中小企業の経営課題は多様化し、慎重な見方が続いている。

## 全国の6月産業別業況

### 【建設業】

「公共工事の件数は、自社の対応可能な件数を上回る水準で推移している。自社の受注数を増やすため、人材確保に努めているが、採用等にかかるコストが重く、収益を圧迫している」（管工事業）、「2024年問題に向け、働き方改革に取り組んでいる。人手不足は受注競争に大きく影響するが、対応は難航している」（一般工事業）

### 【製造業】

「価格転嫁を取引先から受け入れてもらった。しかし、価格改定後は取引先からの受注数が減少しており、継続する原材料・エネルギー価格の増加に対し、都度の値上げを実施したいところだが足踏みせざるを得ない状況である。」（調味料製造業）、「5類移行後、対面や試飲など営業方法も多様化し、売上は増加基調。一方、コスト増は続いており、採算は横ばいである」（茶・コーヒー製造業）

### 【卸売業】

「仕入れ価格の上昇に伴う価格転嫁が難航している。加えて賃上げの圧力もあり非常に苦しい状況」（再生資源卸売業）、「台風の接近による悪天候の影響で、夏野菜が十分に生育しておらず、供給量が減少したことで生鮮食品の価格が高騰。商品価値の負担に加え、運送費等も増加するため、収益を圧迫している」（農畜産水産物卸売業）

### 【小売業】

「5 類移行に伴う人流回復により、化粧品・トラベル用品・衣料品など、外出時に使用するものへと売れ行きがシフトしている」（百貨店）、「物価高騰や電気代・ガス代の高止まりにより、消費者の買い控えが進んでいる。価格転嫁が進み、販売価格は上昇しているものの、客数・購入点数がともに減少しているため、売上は横ばい。今後のさらなる個人消費の低下で売上の悪化が懸念される」（総合スーパー）

### 【サービス業】

「顧客の店内利用・テイクアウト・デリバリーともに増加傾向であるが、それに対応する人材の確保が難しい状況である。業務効率化を図るべく、補助金活用等も視野に入れつつ設備投資を計画している」（飲食店）、「インバウンド・国内観光需要の増加で客足は回復しているが、従業員を確保できず、対応に苦慮している」（一般乗用旅客自動車運送業）

## 【令和 5 年 4 月～6 月期の三条地域の業況】

（※三条地域の詳細データにつきましては、当所ホームページをご参照ください。）

<https://www.sanjo-cci.or.jp>

当地域の全業種合計の業況 DI は、令和 4 年度第 1 四半期(R4 年 4～6 月)比(以後 前年同期比という)では▲19 (前期差 7 ポイント増)となった。業種別では、建設業が▲10 (前期差 4 ポイント増)、製造業が▲21 (前期差 10 ポイント増)、卸売業が▲34 (前期差 14 ポイント増)、小売業が▲48 (前期差 5 ポイント減)、サービス業が+11 (前期差 2 ポイント減)となった。前回調査に比べ、建設業、製造業、卸売業は DI 値が回復したが、小売業、サービス業は DI 値が減少で推移した。

### 三条地域の業種別概況

#### 【建設業】

建設業では、前年同期比の業況 DI は▲10 (前期差 4 ポイント増)、採算 DI は▲6 (前期差 12 ポイント増)、売上額 DI は▲10 (前期差 7 ポイント増)、従業員 DI は▲7 (前期差 7 ポイント増)となり、業況 DI、採算 DI、売上額 DI、従業員 DI とも増加で推移した。

#### 【製造業】

製造業では、前年同期比の業況 DI は▲21 (前期差 10 ポイント増)、採算 DI は▲25 (前期差 9 ポイント増)、売上額 DI は▲23 (前期差 12 ポイント減)、従業員 DI は+7 (前期差 14 ポイント増)となり、業況 DI、採算 DI、従業員 DI は増加したが、売上額 DI は減少で推移した。

#### 【卸売業】

卸売業では、前年同期比の業況 DI は▲34 (前期差 14 ポイント増)、採算 DI は▲27 (前期差 6 ポイント増)、売上額 DI は▲25 (前期差 13 ポイント増)、従業員 DI は▲11 (前期差 9 ポイント増)となり、業況 DI、採算 DI、売上額 DI、従業員 DI とも増加で推移した。

#### 【小売業】

小売業では、前年同期比の業況 DI は▲48 (前期差 5 ポイント減)、採算 DI は▲37 (前期差 1 ポイント減)、売上額 DI は▲30 (前期差 6 ポイント増)、従業員 DI は▲8 (前期差 12 ポイント減)となり、売上額 DI は増加したが、業況 DI、採算 DI、従業員 DI は減少で推移した。

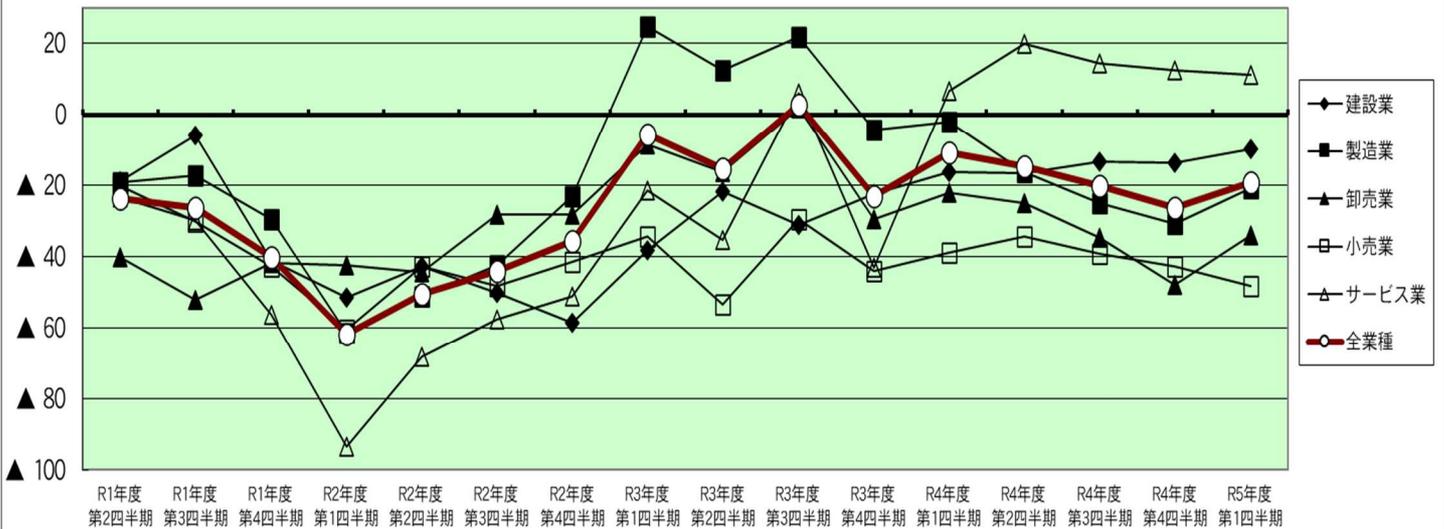
#### 【サービス業】

サービス業では、前年同期比の業況 DI は+11 (前期差 2 ポイント減)、採算 DI は+11 (前期差 6 ポイント増)、売上額 DI は+27 (前期差 7 ポイント増)、従業員 DI は±0 (前期差 5 ポイント増)となり、採算 DI、売上額 DI、従業員 DI は増加したが、業況 DI は減少で推移した。

三条地域の業況DI(前年同期比)の推移 ※DI値＝「良いとする回答割合」-「悪いとする回答割合」

	R1 年度			R2 年度				R3 年度
	第 2 四半期	第 3 四半期	第 4 四半期	第 1 四半期	第 2 四半期	第 3 四半期	第 4 四半期	第 1 四半期
全業種	▲ 24	▲ 26	▲ 40	▲ 62	▲ 51	▲ 44	▲ 36	▲ 6
建設業	▲ 19	▲ 6	▲ 41	▲ 52	▲ 43	▲ 50	▲ 59	▲ 38
製造業	▲ 19	▲ 17	▲ 29	▲ 61	▲ 51	▲ 42	▲ 23	25
卸売業	▲ 40	▲ 52	▲ 42	▲ 42	▲ 44	▲ 28	▲ 28	▲ 8
小売業	▲ 20	▲ 30	▲ 43	▲ 61	▲ 43	▲ 48	▲ 41	▲ 34
サービス業	▲ 23	▲ 30	▲ 56	▲ 93	▲ 68	▲ 58	▲ 51	▲ 21
	R3 年度			R4 年度				R5 年度
	第 2 四半期	第 3 四半期	第 4 四半期	第 1 四半期	第 2 四半期	第 3 四半期	第 4 四半期	第 1 四半期
全業種	▲ 15	3	▲ 23	▲ 11	▲ 15	▲ 20	▲ 26	▲ 19
建設業	▲ 22	▲ 31	▲ 22	▲ 16	▲ 17	▲ 13	▲ 14	▲ 10
製造業	12	22	▲ 4	▲ 2	▲ 16	▲ 25	▲ 31	▲ 21
卸売業	▲ 16	2	▲ 29	▲ 22	▲ 25	▲ 35	▲ 48	▲ 34
小売業	▲ 53	▲ 30	▲ 44	▲ 39	▲ 34	▲ 39	▲ 43	▲ 48
サービス業	▲ 35	6	▲ 43	7	20	14	13	11

業況DI推移 (前年同期比)

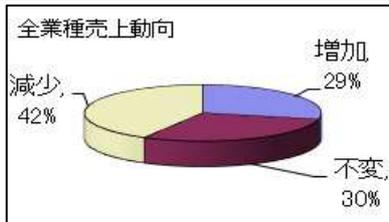


令和5年度 第1四半期(2023年4月～6月)

※四捨五入の関係上百分率の合計が合わないことがあります。

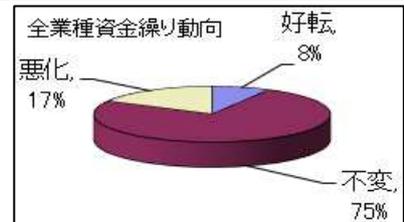
業種別売上動向（前年同期比）

業種		増加	不変	減少
全業種	件数	70	72	102
	%	29%	30%	42%
建設業	件数	9	10	12
	%	29%	32%	39%
製造業	件数	21	30	42
	%	23%	32%	45%
卸売業	件数	11	14	23
	%	23%	29%	48%
小売業	件数	5	9	13
	%	19%	33%	48%
サービス業	件数	24	9	12
	%	53%	20%	27%



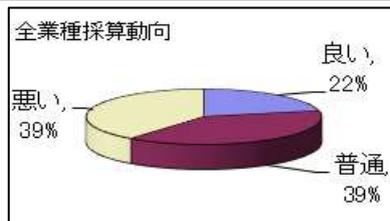
業種別資金繰り動向（前年同期比）

業種		好転	不変	悪化
全業種	件数	19	178	41
	%	8%	75%	17%
建設業	件数	3	26	2
	%	10%	84%	6%
製造業	件数	6	66	17
	%	7%	74%	19%
卸売業	件数	3	37	8
	%	6%	77%	17%
小売業	件数	0	19	8
	%	0%	70%	30%
サービス業	件数	7	30	6
	%	16%	70%	14%



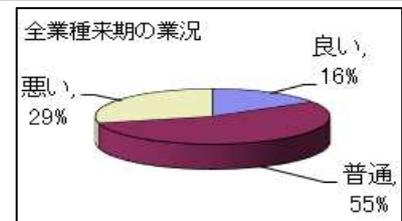
業種別採算動向（前年同期比）

業種		良い	普通	悪い
全業種	件数	52	94	95
	%	22%	39%	39%
建設業	件数	8	13	10
	%	26%	42%	32%
製造業	件数	15	38	38
	%	16%	42%	42%
卸売業	件数	9	17	22
	%	19%	35%	46%
小売業	件数	2	13	12
	%	7%	48%	44%
サービス業	件数	18	13	13
	%	41%	30%	30%



業種別来期(2023.7～9月)の業況(今期比の見通し)

業種		良い	普通	悪い
全業種	件数	33	112	59
	%	16%	55%	29%
建設業	件数	2	18	6
	%	8%	69%	23%
製造業	件数	16	45	19
	%	20%	56%	24%
卸売業	件数	3	20	17
	%	8%	50%	43%
小売業	件数	0	12	7
	%	0%	63%	37%
サービス業	件数	12	17	10
	%	31%	44%	26%



日本商工会議所の全国の業況、三条地域の業況の詳細データにつきましては、当所ホームページをご参照ください。  
<https://www.sanjo-cci.or.jp>